

日本口腔看護研究会 第1回東京地区セミナー

抄録

《 講演 》

当院の病態別口腔ケア基準を用いた口腔ケアシステム運用の現状

東京医科大学病院 看護部 摂食・嚥下障害看護認定看護師 伊藤 美希 先生

平成 24 年度診療報酬改定において周術期口腔機能管理料が新設され、地域全体での口腔ケアへの取り組みが求められている。大学病院は多くの診療科で様々な医療を提供しており、口腔ケア介入を行う患者の基礎疾患は多岐にわたる。当院での口腔ケアへの包括的な取り組みとして、Eilers の OAG(Oral Assessment Guide) を活用した院内統一口腔ケアシステムを運用している。その中で病態別口腔ケア基準を作成し、患者の個別性に応じてより効果的な口腔ケアを早期から実践できるよう取り組んでいる。

入院患者はもとより、外来診療の段階から多くの患者に口腔ケアを実践するための、当院の現状について報告する。

《 特別講演 》

Oral Care IS Critical Care

(オーラルケアはクリティカルケア)

Virginia Prendergast, PhD, ACNP, CNRN, President of WFNN

Barrow Neurological Institute, St. Joseph's Hospital and Medical Center, Phoenix, Arizona USA

Cindy Kleiman, RDH, BS , Oral Care Consultant and Speaker

Retired Faculty at Phoenix College, Department of Dental Programs

エビデンスに基づく研究により、口腔ケアは人工呼吸器関連肺炎（VAP）の発症を減少させるために重要な看護介入として確認されている。VAP は病院の集中治療室（ICU）で人工呼吸器による呼吸支援を必要とする重症患者に発症し、患者の命にも関わる深刻な状態である。この重大な問題に対し、米国クリティカルケア看護協会は、病院組織におけるさらなる教育とより良い口腔ケアの推進の必要性を強調している。患者の健康増進、感染予防、医療費の削減を実現するための質の高い多職種連携による口腔ケアを提供するためには、口腔アセスメントとケアプロトコルを病院内で作り上げることが非常に重要である。

全身の健康と重要な関連性があるにもかかわらず、重症患者への口腔健康を支援または維持するための口腔アセスメントと最善の口腔ケアの実施は不足している。ICU の看護師は口腔ケアの重要性を理解しているものの、ICU 患者にそのようなケアを提供することはしばしばおろそかにされている。挿管患者の口腔健康の変化は十分に立証されており、患者の予後に有害事象を起こす可能性がある。同様に重要なことは、患者は口腔健康とコンフォートの向上のために、費用効率の高い方法を用いた効果的な口腔ケアを受ける権利があるということである。

この講演では、看護師と歯科衛生士のそれぞれの視点から口腔ケアについてのヒントを伝えたいと考えている。協力して働く連携こそが成功の秘訣である。

■ 特別講演の演者プロフィール ■

Virginia Prendergast , PhD, ACNP, CNRN, President of WFNN

Barrow Neurological Institute, St. Joseph's Hospital and Medical Center,
Phoenix, Arizona USA

バージニア・ブレンダガスト 急性期ナースプラクティショナー、脳神経科公認看護師、世界脳神経看護協会 理事長

30年以上に渡り、脳神経科病院では世界第2位の規模のバロウ神経学研究所附属病院にて勤務。2003年から、ナースプラクティショナーや公認看護師の教育にも従事。2006年、エビデンスに基づいた口腔ケアを行いたいという強い思いから、口腔ケアコンサルタントとして活躍する歯科衛生士 Cindy Kleiman を病院に招き、ICU患者の口腔ケアについての研究を開始。2012年、研究論文を発表し博士号を取得。今回の講演では、その研究結果に基づいた最新の口腔ケア方法についてお話いただく予定である。

Cindy Kleiman , RDH, BS , Oral Care Consultant and Speaker

Retired Faculty at Phoenix College, Department of Dental Programs

シンディ・クレイマン 歯科衛生士

リハビリテーション病院での勤務から始まり、歯科衛生士として30年以上に渡り有病患者の口腔ケアに携わるこの道のパイオニア。1987年からフェニックス大学 歯科衛生学科の教員を務め、「要介護者の口腔ケア」、「医療の歴史と救急医療」などを教える。また、口腔ケアコンサルタントとしてさまざまな病院施設の口腔ケアの指導を行ったり、国内外で口腔ケア啓発のために講演活動を行う。最近では、バロウ神経学研究所附属病院にて Virginia Prendergast 率いる口腔ケアの多職種連携チームの一員として活躍されている。